

\*\* 2023年 4月改訂

\* 2018年 1月改訂

## 喀痰溶解剤

# \*\* プレソルブ-L

### —— はじめに ——

喀痰の分離培養は主として呼吸器感染症（気管、気管支、肺胞組織）の起  
因菌検索のための検査です。

一般的に喀痰は粘稠性が高く、そのままでは分取や固形培地への画線塗抹  
が困難であり、また、喀痰中の菌の分布は一樣でないため、分離効率を高め  
るためや定量性を持たせるためには均質化する必要があります。

プレソルブはホモジナイザーを用いる物理的方法や還元剤を用いた化学  
的な方法と異なり、酵素的作用により喀痰を均質化する喀痰溶解剤ですので、  
菌へのダメージはほとんどありません。

### \*\* —— 本質〈キットの構成〉 ——

#### プレソルブ-L

セミアルカリプロテアーゼ …… 75万U／バイアル × 6本  
溶解液

pH緩衝剤 …… 3.488g／250mL × 6本

ジョイント …… 6個

### —— 使用目的 ——

喀痰の均質化。

### —— 用法・容量 ——

#### [ 試液の調製法 ]

セミアルカリプロテアーゼを溶解液で以下のように無菌的に溶解します。  
調製後の試液は、5℃保存で7日以内に使用してください。

- 1) セミアルカリプロテアーゼのアルミキャップとゴム栓をはずします。
- 2) 袋の中のジョイントを、無菌的にセミアルカリプロテアーゼにはめ込み  
みます。
- 3) ジョイントの反対側を溶解液ボトルの口に取り付けます。
- 4) 数回転倒混和します。
- 5) 完全に溶解後、ジョイントをボトルから取り外しキャップを締めます。

#### [ 試薬の使用法 ]

- 1) 喀痰を一定量とり試験管に移します。
- 2) 喀痰と等量（ただし、各痰の粘稠度に応じて適度に増量します）のプ  
レソルブ試液を添加します。
- 3) 十分に混和します（均質化が不十分の場合には、室温にしばらく放置  
してください）。

### —— 使用上または取扱い上の注意事項 ——

#### 1. 一般的な注意事項

- 1) この添付文章をよく読み、記載された操作法に従い使用してください。
- 2) 不純物の混入により失活する恐れがあるため、試薬を汚染させないよ  
うに十分注意してください。
- 3) 調製したプレソルブ試液は、力価の低下を防ぐため、長時間室温に放  
置することや高温での放置は絶対避けてください。

#### 2. 危険防止上の注意事項

- 1) 試薬等が目や口に入った場合には、水で十分に洗い流し、医師などに  
相談し、指示を受けてください。
- 2) 検体に接触した器具、試薬および試薬容器などは感染の危険があるも  
のとして取り扱ってください。
- 3) エアロゾルの発生、散布、吸引の防止に十分留意し、操作は安全キャ  
ビネット内で行う。また、遠心機はバイオハザード仕様あるいは密閉  
シールドカバー型を用い、検体による機器の汚染に対して十分注意し  
てください。

#### 3. 廃棄上の注意事項

使用済みの試薬容器は高圧蒸気滅菌して廃棄してください。

### —— 貯法・使用期限 ——

#### [ 貯法 ]

冷所（2～10℃）に保存。

#### [ 使用期限 ]

1年間。

外箱および容器のラベルに使用期限を記してあります。

### \*\* —— 包装単位 ——

プレソルブ-L …… Code 04529

### \*\* \* —— 問い合わせ先 ——

〒110-0005 東京都台東区上野 3-24-6

島津ダイアグノスティクス株式会社 カスタマーサポート担当

電話：03(5846)5707

\*\* \* 製造販売元

## 島津ダイアグノスティクス株式会社

東京都台東区上野 3-24-6 〒110-0005 TEL 03(5846)5611 (代)

(8A50S)